

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。患者さんが、この研究のために患者さん本人の情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益になることはございません。

研究課題名	Impress挿入眼の全距離視力と瞳孔径の影響
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 眼科学 医員 大村 さやか
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2027年 12月
研究参加拒否 申込受付期間	2027年1月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
対象者	2025年3月から9月に金沢医科大学病院で水晶体再建術を施行し、Vivinox Impress (HOYA) あるいは単焦点レンズを挿入した症例のうち、術後1～3ヶ月の検査が可能であった例で登録します。
当該研究の意義・目的	瞳孔径の違いがImpress挿入眼の全距離視力に与える影響を明らかにすることを目的に検討します。 患者によって瞳孔径は異なり、その患者に最適な眼内レンズの種類、屈折値を選択できるようにになります。
方法および研究で 利用する試料・情報について	電子カルテより年齢、性別、病歴、対象眼、挿入した眼内レンズの製品名・型式、術前並びに術後1か月及び3か月時点の各距離視力（5 m、100 cm、70 cm、60 cm、50 cm、40 cm及び30 cm）、遠見及び近見時の瞳孔径、術後屈折値を抽出します。 対象となる眼内レンズはVivinox Impress (HOYA) あるいは単焦点レンズです。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 集められたデータは学内規程に則り、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。 この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 眼科学 医員 大村 さやか 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（60521）

作成日： 2026 年 06 月 24 日